



平成 30 年 8 月 8 日

各 位

W A S H ハ ウ ス 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 児 玉 康 孝
(コード番号：6537 東証マザーズ・福証Q-Board)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 部 長 阿 久 津 浩
電 話 (0 9 8 5) - 7 8 - 4 0 0 0

平成 30 年 12 月 期 第 2 四 半 期 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異 に 関 す る お 知 ら せ

平成30年2月9日に公表いたしました平成30年12月期第2四半期の業績予想と実績値に差異が生じたので、以下のとおりお知らせいたします。

●業績予想と実績値の差異について

1. 平成30年12月期第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,609	百万円 43	百万円 44	百万円 27	円 銭 4.03
決 算 値 （ B ）	1,342	△14	△12	△18	△2.64
増減額（B－A）	△267	△58	△57	△46	
増 減 率 （ % ）	△16.6	—	—	—	
（ご参考）前第2四半期実績 （平成29年12月期第2四半期）	1,440	37	40	22	3.26

2. 差異の理由

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は前回予想より267百万円少ない1,342百万円となりました。これは店舗管理事業、直営事業その他が概ね業績予想どおりに推移した一方で、FC事業において、当第1四半期から行っている既存エリアの深耕拡大と新規エリアの開拓が十分にできていないこと等の影響により、出店数が前回発表予想より13店舗少ない35店舗（移転を除く）となったことで売上高が減少したことが原因であります。販売費及び一般管理費においては、営業担当以外の人材の増員を控えたため人件費が前回発表予想より減少したものの、FC事業での出店数の減少の影響が大きく、営業利益は14百万円の損失、経常利益は12百万円の損失、また四半期純利益は18百万円の損失となり、いずれも当初計画を下回りました。

通期業績予想につきましては、6月12日付「子会社における新たな事業の開始に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、当第3四半期以降から貸金業が開始となることでの影響がまだ不透明であるため、修正はいたしません。業績を注視し、今後開示すべき事項がございましたら、速やかに公表いたします。

以 上